

# 自動車のバッテリーから出火した事例

## 火災概要

共同住宅の1階駐車場内に駐車中の車両内にて、後部座席及び同車両内の積載物を一部焼損した火災です。

所有者が車両に乗車しようと駐車場内に下りてくると、同車両から煙が出ているのを発見し、119番通報しています。消防が到着して車両内を確認すると、既に鎮火状態で消火活動はしていません。

## 原因概要

本件火災の出火原因は、中古で車両を購入して直ぐに車内でインバーター等を使用するために12vバッテリーを後部座席の下に増設しており、この際にプラスターミナルに通常設置すべき絶縁カバーを取り付けていなかったために、上部の座席のスプリングと同プラスターミナルのナットリングが接触し、ショートした火花が同後部座席シートに着火して延焼したものの、密閉状態の車内が酸欠状態になり自然鎮火したものです。



焼損したセカンドシート



セカンドシート下に設置されたバッテリー

## 類似火災の防止対策

自動車は電気配線を減らすために、車体がマイナス配線の役目をするボディアースという方式がとられています。このため車載バッテリーのプラス側端子には、必ず絶縁カバー等を取り付け、ボディ及びマイナスとなる車体の各部分から絶縁しなければなりません。振動等が不可欠な自動車内での電気系統の改造は、今回のように火災事故につながるリスクを伴いますので十分に注意して下さい。



シート裏のターミナルとの接触部分

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・